
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 136 号(2024.4.19)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 136 号をお届けします。

第 136 号の目次

1 活動組織の活動紹介

☆^{おいすみ}大泉^{かみいな}田園^{みなみみのわむら}景観保全会（長野県上伊那郡南箕輪村）☆

地域の方々と協力し、200 年以上にわたる伝統行事「まんどふり」や豊かな農村景観を次の世代に繋いでいます！

☆^{やすひさ}安久水^{みしま}と緑の会（静岡県三島市）☆

農閑期の田んぼにお花を植栽し、毎年「お花畑コンサート」を開催しています！近隣の直売所への来訪者も増えています！

2 活動組織へのインタビュー

☆^{かみなくいちく}上名久井^{なんぶちよう}地区環境保全隊（青森県南部町）☆

地域の伝統芸能の継承活動を通じて築かれた「地域のまとまり」をうまく活用し、農地の管理に取り組んでいる組織があります！役員の方にインタビューを行いました！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆^{しんでん}新田^{くりはら}地区農村環境保全組合（宮城県栗原市）☆

ホームページを開設して活動に関する情報を発信しつつ、気軽に問合せができるようにしています！

【編集後記】

■ 1 活動組織の活動紹介 (1) ～^{おいづみ}大泉田園景観保全会(長野県^{かみいな}上伊那郡^{みなみみのわむら}南箕輪村)～ ■

～地区概要～

当地区は中央アルプスの経ヶ岳を源とする大泉川の扇状地に位置しています。水田地帯と畑作地帯からなる歴史ある農村地域であり、先人の尽力による灌漑水路で諏訪湖の水を利用しています。活動範囲は、田 141.3ha、畑 64.0ha、農道 18.3km、水路 45.2km です。

～主な取組～

◎草刈り作業の省力化や田園景観の向上を図るため、法面に芝等のカバープランツを植栽する試験を実施しています。また、「レンゲプロジェクト」と名付けて、冬季間の砂塵飛散防止や花園を目的として田畑にレンゲの植栽を推進しています。

◎この地域の200年余にわたるお盆の伝統行事であり、麦わらに火をつけ、振り回して祖先の霊を迎える、「まんどふり」の継承に向けた活動を実施しています。遊休農地でまんどの材料となる大麦の種まき・麦踏み・刈取りと麦わらを編みあげる活動を、小学校PTA や消防団と連携して実施しています。

◎また、地域資源保全管理構想策定のために実施したワークショップの中で、地域の憩いの場の創設やホテルの復活を望む意見が多くあったため、ホテルの保全や地域の歴史ある水利資源である横井戸の保全を中核とした「大泉ネイチャーランド構想」を計画し、現在実現に向け取り組み中です。

◎今後も、地域の伝統・文化・技術や農村地域の景観を次世代に引き継ぐための活動に尽力していきたいです。

【大泉田園景観保全会】



芝の吹き付け作業



麦の収穫



親子のまんどふり



建設中のホテル水路

編集担当 SDGs コメント

法面への芝等のカバープランツの植栽試験は管理作業の省力化につながることから目標2（持続可能な農業生産を支える）に貢献しています。また、地域の伝統行事である「まんどふり」について、伝統を継承し、農村コミュニティの強化に取り組むことで目標 11（住み続けられる地域をつくる）に貢献しています。地域の伝統や景観が次世代につながる活動を応援しています。



■ 1 活動組織の活動紹介 (2) ~安久水と緑の会(静岡県三島市)~ ■

~地区概要~

当地区は、三島市の南部に位置する稲作中心の田園地帯です。近年では交通の便が良いこともあり、非農家の住民が増加している中、住民間の交流を大切にしている地域です。活動範囲は、田 21.3ha、畑 0.7ha です。

~主な取組~

- ◎ 地区の草刈りや清掃活動には非農家を含め多数の参加があります。また、草刈り作業軽減のため、法面への防草シートの設置や土法面のコンクリート化に取り組んでいます。



未対策の路肩



防草シート設置

- ◎ 地域の子供クラブや小中学校と連携し、さつまいもの植付けや収穫などの農業体験を年4,5回開催しています。また、地域の景観向上のため、農閑期の田んぼにれんげやワイルドフラワーを植栽し、毎年お花畑コンサートを開催しています。これらの活動には地域内外から約300名以上の参加があります。イベントを開催することで、地域の野菜やお米を販売する近在の直売所への来訪者も増え、地域の活性化に繋がっています。



野菜の植付け体験

- ◎ ICT 技術を活用した水管理システムなど、最先端の技術を導入し、実装化を進めています。

- ◎ 今後も、地域の伝統・文化・技術や農村地域の景観を次世代に引き継ぐための活動に取り組んでいきます。

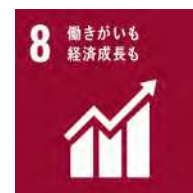
【安久水と緑の会】



お花畑コンサート

編集担当 SDGs コメント

法面への防草シートの設置等は、管理作業の省力化につながることから目標2（持続可能な農業生産を支える）に貢献しています。また、植栽活動やそれに伴って開催されるイベントにより多くの観光客が訪れ、地域の活性化につながっていることは、目標8（地域における所得向上や雇用の確保を図る。）に貢献しています。これからも本交付金を有効に活用していただき、地域の活性化につながる活動を応援しています。



■2 活動組織へのインタビュー ～^{かみなくいちく}上名久井地区環境保全隊(青森^{なんぶちょう}県南部町)～■

組織の概要

活動範囲：田 61ha、畑 27ha
対象施設：水路 7.2km 農道 18.4km
活動開始時期：平成 24 年度～



役員の四戸氏

～ インタビュー ～

- 話し手 上名久井地区環境保全隊 四戸氏
- 聞き手 青森県三八地域県民局地域農林水産部農村計画課
青森県南部町農林課

Q：組織を立ち上げたきっかけを教えてください。

A：組織を発足するにあたり、地域の中から今後農地を守っていくためには個々の農家だけではなく、より地域で一体となった共同活動による農地の管理に取り組んでいかなければいけないという声があがってきたことから、平成 24 年度から活動に取り組んでいます。

Q：構成員に農業者のほか多数の非農業者団体が参加していますが、参加に至った経緯を教えてください。

A：構成員には 4 つの町内会や老人会、子ども会が活動に参加しています。

参加している団体間では、多面的機能支払交付金の活動に取り組む以前から地域の伝統芸能である「えんぶり」や「神楽」の継承活動を通じ、長年に渡って地域のコミュニティを築いてきました。本交付金の活動を始めるにあたり、これまで培ってきた「地域のまとまり」をうまく活用できると考え、活動に参加することになりました。

Q：組織を運営する中で苦労したこと・心がけていることを教えてください。

A：苦労した点は、町内会をはじめ参加している団体が多く、構成員も 200 人を越えているため、各団体との連絡調整が大変です。

役員としては、当たり前の話ではありますが、活動内容は組織で話し合った上で決定し、構成員全員に確実に周知すること、本交付金を適正に執行することを心がけ、組織の運営に取り組んでいます。



水路の草刈作業の様子

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：水路管理の面では、人力作業だけでは賅いきれない部分もあり、本交付金を活用したバックホウによる土砂の撤去作業は非常に助かっています。また、農道管理の面では、共同活動により定期的に敷砂利や周辺の草刈りが行われているため、適切に管理できていると実感しています。



水路の泥上げ作業の様子

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：組織での活動を始めて 10 年以上経過しており、現在の役員が多くが 75 歳以上になり、高齢化が進んでいる状況です。

今後も引き続き、地域の農地を守っていくためにも、次世代を担う若い人にスムーズに引き継いでいきたいと思っています。



子ども会等も交えた植栽活動の様子

【青森県三八地域県民局地域農林水産部農村計画課】

編集担当 SDGs コメント

伝統芸能を通じ築いてきた「地域のまとまり」をきっかけに、多様な団体の参画を増やすことは、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを推進する。）に貢献しています。地元団体と協力した活動、とても素晴らしいと思います。地域一体となった活動をこれからも続けていただき、次世代を担う若い人へスムーズに引き継いでいけるよう応援しています！



■3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

～新田地区農村環境保全組合(宮城県栗原市)～

広報の概要

- ◇ 令和3年4月1日にホームページを開設しました。活動の予定や様子を逐次書き込み、情報発信をしています。
- ◇ パソコンや携帯電話でいつでもどなたでも閲覧できるようにしています。
- ◇ 今後は全国の活動組織の方々と情報交換できるようにしたいと考えています。

～工夫しているポイント～

ポイント1

気軽にお問合せができるよう、活動組織の問合せフォームを設置しています。

ふるさとの明日をきりひらく

宮城県北部にあり、岩手・秋田の3県にまたがる名峰栗駒山。その水源が栗原市の仙北平野を潤し豊かな自然を育んでいる。当組合はその東部の志波姫地区内に在る。

新田地区農村環境保全組合のホームページへようこそ。
多面的機能支払交付金活動に関する情報をお知らせしています。

目 お知らせ 令和5年度

ほたる水路の草刈作業
開催日 7月30日(日) 午前6時から
集合場所 佐藤弘毅様宅ほたる水路
班長さんから依頼のあった方、ご協力下さい。☆自主参加表明の方、大歓迎です☆
草刈作業終了後、ほたる水路周辺部で小中学生の皆さんで「生き物調査」を実施しますのでご参加ください。

生き物調査
開催日 7月30日(日) 午前7時から
集合場所 ほたる水路
参加対象 小中学生、小中PTA、ほたる水路清掃作業参加の組合員
講師 どじょうなますの会 三塚代表、斎藤顧問
参加申込 前日までに、PTA会長さんまで参加の申し込みを行ってください。
※参加した小中学生には軽食を提供します。また、生き物調査、環境保全に関する絵画、作文、標語の募集を行います。

農道水路一斉清掃作業及び草刈作業
開催日 7月23日(日) 午前6時から
全戸参加(1名づつ)が基本となります。
班内の農道水路の一斉作業：空き缶等のごみ拾い
側溝水路の泥上げ作業、草刈作業

組合員移動研修会
開催日 7月9日(日) 午前8時50分集合
訪問先 岩沼市玉浦南即資源保全会他
参加定員 40名
会費 3,000円
参加締切 6月23日(日) 各班ごとに集約し事務局まで

ほたる感賞月冊
開催日 6月23日(日)～7月5日(水)
開催場所 横峰地区ほたる水路沿線

令和5年度開催について
実施日 4月23日(日) 午前10時から
場所 新田地区自治会

事業計画
お問合せ
代表挨拶

事務所
〒989-5622
宮城県栗原市志波姫南八幡331
新田地区自治会館内

多面的機能支払
高めよう 地域協働の力!

スケジュール

【令和5年度 事業計画】

生物多様性保全活動計画について
景観形成活動計画について

月	旬	農地維持活動及び資源向上活動	資源向上活動 (長寿命化活動)
RS 4月	上	監査会	
	中	令和5年度通常総会・審議審議・審議決議	
	下	役員会	
5月	上		
	中	農道水路一斉草刈	
	下	宇常農道法道 新谷川堤防草刈	
6月	上		
	中	各花壇植込作業	
	下	ほたる総員会	
7月	上	施設点検・機能診断	
	中		
	下	農道水路一斉草刈	
8月	上	ほたる水路草刈 生き物調査	
	中		
	下		

ポイント2

組織の活動内容を知ってもらうため、年間の事業計画や生物多様性保全計画等、関連する計画を掲載しています。

新田地域 生物多様性保全活動計画 新田地区農村環境保全組合

1 はじめに(要綱基本方針)

① 地区の概要

当地区は、栗原市東部に位置する標高20m～25mのほぼ平坦な水田単作地帯である。歴史的には、仙台藩第二代藩主伊達忠家の治世下の1640年代に林野を水田として開墾したことから、当地域を「新田」と呼ぶようになったと伝わっている。

当地方では以前は初農になるとヘイケホタルの飛翔が普通に見られたが、農業都市や排水路のコンクリート装工等の環境変化に伴い、現在は殆ど見られなくなった。

地区の両西端部にはヘイケホタルの飛翔がより多く見られたことから、県営土地改良事業によって構築された通称「ホタル水路Lと300m」が構築されたものの、そのホタル水路も近年はヘイケホタルの飛翔が確認出来なくなっているのが現状である。

② これまでの活動概要

当組織では、志波姫小中学校の新田地区PTA会員とその子供達に協力をいただきながら、「ホタル水路」でのヘイケホタルの飛翔復活を、生態系保全活動の中心に据え、組合設立初年度の平成19年度から今年の令和3年度まで、15年間に亘り活動を継続してきた。

そして長年のホタル復活活動の結果、ここ数年は少しづつヘイケホタルの飛翔数が増加したことから、平成30年は「第1回ほたるまつり」、令和元年は「第2回ほたるまつり」を開催したが、昨年度と今年度は新型コロナのため、やむなく中止とした。

なお、ホタル復活活動に関しては、登米市「増野ゲンジホタル保存会」代表、小野寺義一先生、仙台市「青葉山ほたるの会」会長、兵庫淑子先生、栗原市「伊豆沼内沼どじょうなますの会」代表、三塚牧夫先生、等の指導と助言を戴きながら活動して来たが、今後も随時先生方の指導と助言を戴きながら活動を進めていくものとする。

2 活動範囲

基本的には、現在のホタル水路を中心とした活動範囲で今後も継続して行うものとするが、将来的にヘイケホタル復活が可能な(見込める)条件の水路等があれば、活動範囲を拡大して活動することも可とする。

(ホタル水路等の位置については、別添「活動区域図」参照のこと。)

3 活動内容

- ホタル水路内の草刈除草作業は組合員が、ホタル水路遊歩道の草刈除草作業は、小中学校PTAと小中学生が、年に1回(夏休み中の8月初旬)に行う。
- 生き物調査は、上記の遊歩道草刈作業終了後に、草刈作業参加の小中学生を対象に講師先生を招いて、ホタル水路周辺部で行う。
- ヘイケホタル幼虫と、ヘイケホタル幼虫の餌になるニナ貝幼虫の実施は、その年のニナ貝の生息数等から実施の要否を判断するものとする。
- 組合ホームページに生物多様性保全活動の状況を随時掲載することによって、活動

活動報告 REPORT

農地維持活動内容



年々来に開催される総会風景。毎年たくさんの方が参加し自由な議論が飛び交います。※3年ぶりの対面による総会開催。

資源保全向上(共同活動)活動内容

各組ごとに実施している農道水路一斉草刈風景。



景観形成活動内容



水たまり花壇の植栽作業風景。地域住民のみならず通り過ぎる人々に安らぎを与えています。

ポイント3

共同活動や景観形成活動、長寿命化等、活動内容が分かりやすいよう写真で紹介をしています。

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。はじめまして、新年度より「農村ふるさと保全通信」の担当を前任から引き継ぎました。引き続き、皆様に少しでも役に立つ情報を届けられるように努めていきます！ご意見・ご感想等もぜひお待ちしております！

私事ですが、4月から社会人となり上京し、はじめての一人暮らしがスタートしました。引っ越し当日に食あたりを起こしたり、はじめての洗濯でボールペンを一緒に洗ってしまったりと散々なスタートですが、頑張っ生きていこうと思います。(笑)

これからどうぞよろしくお願ひします！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）
TEL：03-3502-8111（内線 85683）